

「合同会社鮫川エナジー」様に対するプロジェクトファイナンス組成について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、合同会社鮫川エナジー様に対しプロジェクトファイナンスを組成しましたのでお知らせいたします。

本プロジェクトは、芙蓉総合リース株式会社様（本社：東京都、代表取締役社長 織田 寛明）及びシャープエネルギーソリューション株式会社様（本社：大阪府、代表取締役社長 五角 博純）が共同出資する事業であり、鮫川村が制定した「鮫川村再生可能エネルギー発電の促進による農山漁村活性化基本計画」に基づく太陽光発電事業で、この度、本発電所の竣工式が執り行われました。

長期間利用されず荒廃していた農地を太陽光発電所として利活用し、地域の農林漁業の健全な発展に資する取り組みを実施する計画です。

本プロジェクトファイナンスは、当行がアレンジャー（主幹事）兼エージェントを務め、東北地方の地域金融機関との協調により組成が実現したものです。

当行は、今後も多様な金融手法を活用して、再生可能エネルギーの普及に積極的に取り組み、地域の脱炭素化に貢献してまいります。

記

1. プロジェクトの概要

借入人	合同会社鮫川エナジー
スポンサー	芙蓉総合リース株式会社 シャープエネルギーソリューション株式会社
発電所名称	鮫川青生野太陽光発電所（別紙ご参照）
発電規模	約40.8MW（太陽光モジュールベース）
商業運転開始	2023年4月
年間予測発電量	約4,400万kWh （一般的な家庭の約9,200世帯分の年間消費電力量に相当）

2. プロジェクトファイナンス概要

アレンジャー（主幹事）	当行
エージェント	当行
参加金融機関	当行、荘内銀行、七十七銀行、福島銀行、北都銀行
契約締結日	2022年1月

3. 関連するSDGs



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取り組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



鮫川青生野太陽光発電所全景